

令和2年度  
恵庭市教育委員会点検評価報告書



令和3年12月

恵庭市教育委員会



## 目 次

点検と評価の概要	3
点検評価の実施方法	4
令和2年度 恵庭市教育委員会点検評価票	
1 教育総務課	
ICT教育環境の整備・活用	5
教職員の働き方改革の推進	5
学力・体力向上の推進	6
2 教育支援課	
「なかよしさわやかDAY全市交流会」の推進	7
スクールカウンセラー活用事業	7
3 学校給食センター	
食物アレルギー対応指針に基づく安全安心な学校給食の対応	8
4 社会教育課	
コミュニティ・スクール事業	9
青少年育成事業の推進	9
郷土芸能の体験学習の推進	10
「えにアートギャラリー」の開設	10
5 読書推進課	
図書館情報システムの更新	11
恵庭分館カードレスIC化事業	11
学校図書館活動の推進及び充実	12
6 郷土資料館	
地域の遺跡・施設等の教材化と活用	13
郷土資料館事業の充実	13

7 教育施設課	
学校教育施設の整備について①	14
学校教育施設の整備について②	14
地区会館等の整備について	15
令和2年度 恵庭市教育委員会点検評価一覧	16

## 点検と評価の概要

### 1 経緯

平成19年6月に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」（以下「地教行法」という。）が改正され、改正後の第26条第1項において、「教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（中略）の管理及び執行状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。」（参考1）と新たに規定されました。

### 2 目的

地教行法第26条の点検及び評価（以下「点検と評価」という。）は、教育委員会が自ら立てた基本方針に沿って、具体的な教育行政が執行されているかどうかについて点検と評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出し、公表することにより市民に対する説明責任を果たすとともに、効果的で市民に信頼される教育行政を推進することを目的としています。

### 3 点検と評価の対象

本年度の点検評価においては、令和2年度の教育行政執行方針及び第2次教育推進プログラム重点推進項目に係る主要な施策・事業の実施結果を対象として点検と評価を実施します。

### 4 学識経験者の知見の活用

地教行法第26条第2項（参考2）の規定による学識経験者の知見の活用については、教育委員会の事務の点検と評価の客観性を確保する観点から、教育委員会が行った点検と評価について、教育に関し学識経験を有する3名から意見等を聴取する機会を設けることにしました。

#### 意見提出者（3名；敬称略）

点検評価委員 高 桑 純（北海道文教大学人間科学部こども発達学科 教授）  
同 上 結 城 健 介（恵庭市社会教育委員）  
同 上 長 岡 秀 明（学校教育有識者）

#### ※参考条文

地方教育行政の組織及び運営に関する法律抜粋

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

（参考1）第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

（参考2）2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

## 点検評価の実施方法

- 1 本年度の点検評価においては、「令和2年度の教育行政執行方針」及び「第2次教育推進プログラム重点推進項目」に係る主要な施策・事業の実施結果を対象として点検と評価を行いました。  
また、各施策・事業の「教育推進プログラム」における位置づけも確認しながら評価を行いました。
- 2 事業の評価の判断基準  
必要性・効率性・有効性・公平性・優先性等の観点から、その達成度を総合的に判断して評価し4段階でランク付けを行いました。  
  
A：想定した以上に達成・想定した以上に順調に進捗  
B：想定どおり達成・概ね順調に進捗  
C：一定の成果があがっているが、一部については想定どおり達成できなかった  
進捗にやや遅れが見られる  
D：想定どおりには達成できなかった・想定したとおりには進捗していない

令和2年度 恵庭市教育委員会点検評価票

<b>1</b> 新規		所管課 【 教育総務課 】	
事業名(施策)		自己評価	
ICT教育環境の整備・活用		<b>計画の達成状況</b>	
第5期総合計画での区分		令和2年度は、恵庭小パソコン教室パソコンをタブレット化し、小中学校全校でタブレット化が終了した。また、小中学校全校で主要5教科の指導者用デジタル教科書を整備した。	
基本目標	4.人が育ち文化育むまち	さらに、全児童生徒数の3分の2(3,888台)の1人1台タブレットパソコンを整備した。 ※学校内ネットワーク工事等は令和2年度で予算措置し、令和3年度に実施。	
目 標	16.子どもの自立成長を促す学校教育	<b>課題及び今後の取り組み</b>	
教育推進プログラム(施策の方向)		令和3年度から、1人1台タブレットパソコンを活用し、他のICT機器と組み合わせた授業を行う。児童生徒の力を最大限に引き出すための授業づくりの実践が課題。	
情報モラルや情報活用能力の向上をめざした情報教育の充実		また、教育用サーバ・プリンタや電子黒板用パソコンを更新。ICT機器については、今後、計画的に更新・整備を行う。	
事業(施策)概要・計画(目標)		<b>外部評価委員の意見</b>	
教育用ICT機器の活用による学習指導の充実や、情報活用能力の育成を図るため、電子黒板・電子黒板用パソコンや指導者用デジタル教科書、パソコン教室パソコンのタブレット化などICT教育環境の整備を実施しており、今後、計画的に整備・更新を行う。		GIGAスクール構想により多額の予算が配分され、ICT環境の整備が進んだことを評価します。活用に関わって「ルールづくり」などの課題も多く、どう授業に生かしていくか、教員の働き方と絡めながら研修と結びつけ、取り組んで欲しいと思います。	
また、国の「GIGAスクール構想」に基づく1人1台端末を整備し、授業で積極的に活用することにより、児童生徒の学びの向上を目指す。			
予算額(千円)	決算額(千円)		
315,345	309,261		
自己評価	外部評価		
<b>B</b>	<b>B</b>		

<b>2</b> 新規		所管課 【 教育総務課 】	
事業名(施策)		自己評価	
教職員の働き方改革の推進		<b>計画の達成状況</b>	
第5期総合計画での区分		令和2年度から、全教職員の在校等時間を記録して実態を把握した。また、勤務時間外の留守番電話を全校に設置した。	
基本目標	4.人が育ち文化育むまち	さらに、学習指導員やスクール・サポート・スタッフの活用や、部活動指導員を中学校1校に1名配置したとともに、学校閉庁日や部活動休業日の設定、教職員への意識醸成(働き方改革NEWSの発行)を行うなど、教職員の働き方改革の取組を推進した。	
目 標	16.子どもの自立成長を促す学校教育	<b>課題及び今後の取り組み</b>	
教育推進プログラム(施策の方向)		教職員の勤務時間の記録を継続し、実態を分析・周知しながら、教職員の長時間勤務の解消に向けた取組を推進する。また、調査や学校行事の精選などを行いながら、教職員の在校等時間のさらなる縮減を図る。	
事業(施策)概要・計画(目標)		さらには、部活動指導員を継続して配置し、部活動の質的向上や教職員の負担軽減を図る。	
「恵庭市立学校における働き方改革推進計画」に基づき、教職員の長時間勤務の解消に向けた取組を通じて、教育の質の向上や、児童生徒が心身ともに健やかに成長できる環境づくりを推進する。		<b>外部評価委員の意見</b>	
また、部活動について「恵庭市立学校における部活動の在り方に関する方針」に基づく取組を通じて、部活動の質的向上や教職員の負担軽減を図る。		中学校の部活動指導員の増員について、大いに評価できます。教員の労働時間の記録も大事なデータですが、勤務実態と絡めて分析し、更なる軽減の方策を検討してほしいと思います。	
予算額(千円)	決算額(千円)		
456	336		
自己評価	外部評価		
<b>B</b>	<b>B</b>		

令和2年度 恵庭市教育委員会点検評価票

<b>3</b> 新規		所管課 【 教育総務課 】	
<b>事業名(施策)</b>		<b>自己評価</b>	
学力・体力向上の推進		<b>計画の達成状況</b>	
<b>第5期総合計画での区分</b>		令和2年度は、学力・体力向上推進会議を3回開催し、学力・体力向上に係る効果的な取組について協議した。	
<b>基本目標</b>	<b>4.人が育ち文化育むまち</b>	学力向上の取組として、標準学力検査(NRT)(小2～中3)や英検IBA(中1～中3)を実施した。また、体力向上の取組として、小学校体育授業支援を7校で40回実施した。	
<b>目 標</b>	<b>16.子どもの自立成長を促す学校教育</b>	※令和2年度は「全国学力・学習状況調査」「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」が中止	
<b>教育推進プログラム(施策の方向)</b>		<b>課題及び今後の取り組み</b>	
学力・学習状況の実態把握と学力向上プランの作成・推進		学力・体力向上推進会議を継続して開催し、学力・体力向上に係る効果的な取組について協議する。	
子どもの体力・運動能力の実態把握及びその向上		学力向上の取組として、「全国学力・学習状況調査」「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の実施、及び結果分析を行う。また、標準学力検査、英検IBAなどを継続して実施しながら、学年に応じた受験科目や、学習を支援する補助員・支援員などの拡大について検討する。	
<b>事業(施策)概要・計画(目標)</b>		体力向上の取組としては、体育授業支援事業を継続して実施しながら、支援回数が増や中学校への拡大について検討する。	
学力・体力向上推進会議での意見を踏まえ、小中学生の学力・体力向上を推進する。		<b>外部評価委員の意見</b>	
全国学力・学習状況調査の結果分析や学力テスト(NRT)の実施、学校改善プランの作成等を行い、児童生徒の学力向上を図る。また、全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果分析や体力向上プランの作成等を行うとともに、総合型地域スポーツクラブと連携した体育授業支援により、児童生徒の体力向上を図る。		学力・体力向上推進会議で効果的な取組が協議されたこと、学力テストの結果分析をふまえ更なる改善を進めようとすることは十分に評価できます。また、英検IBAなど継続実施や、学習支援の充実を図っていることも大いに評価できます。体力面で、巣ごもりによる視力・体力の低下への対策をお願いします。	
予算額(千円)	決算額(千円)		
10,626	10,127		
自己評価	外部評価		
<b>B</b>	<b>B</b>		



令和2年度 恵庭市教育委員会点検評価票

4 継続		所管課 【 教育支援課 】	
事業名(施策)		自己評価	
「なかよしさわやかDAY全市交流会」の推進		計画の達成状況	
第5期総合計画での区分		新型コロナの影響により代替事業を実施	
基本目標	4.人が育ち文化育むまち	①当番校(小中各1校)のいじめに関する取り組みをDVDに収録	
目 標	16.子どもの自立成長を促す学校教育	②全小中学校にて視聴	
教育推進プログラム(施策の方向)		③児童生徒会役員は、DVD視聴後にワークシートに取り組み、その内容を含めた事業実施報告書をまとめ各校に配布。	
子どもが自ら考え進んで解決する活動支援		課題及び今後の取り組み	
事業(施策)概要・計画(目標)		上記内容を今後も継続し行う。	
事業概要:各学校の児童会・生徒会代表が集い、いじめ問題について情報交換や意見交換を行い、いじめ根絶に向けた取組の充実を図る		外部評価委員の意見	
事業計画:		例年とは違い、代替事業の実施で苦勞されたことと思います。	
①いじめ問題の現状や課題、いじめ防止についての意見交流を推進する。		このような状況下で、話し合い等の内容を各校に伝える工夫をされたことは評価できます。きめ細かい分析を行いながら、次年度以降の「交流会」の実施につなげてほしいと思います。	
②全市交流会を踏まえた各学校によるいじめ防止活動の推進			
③全市交流会での情報を組織還元し、各学校の取組の充実を図る。			
予算額(千円)	決算額(千円)		
116	0		
自己評価	外部評価		
B	B		

5 継続		所管課 【 教育支援課 】	
事業名(施策)		自己評価	
スクールカウンセラー活用事業		計画の達成状況	
第5期総合計画での区分		①相談件数:児童生徒208件、保護者322件、教職員705件。	
基本目標	4.人が育ち文化育むまち	②メンタルフレンドについては子どもとの関わりについて個別ケース毎助言をし、教職員、保護者に対してはカウンセリングという形で支援。	
目 標	16.子どもの自立成長を促す学校教育	課題及び今後の取り組み	
教育推進プログラム(施策の方向)		引き続き、活動時間数を確保しつつ事業を継続していく。	
保護者や児童生徒への相談体制の充実		外部評価委員の意見	
事業(施策)概要・計画(目標)		コロナ感染拡大の中、保護者、児童生徒、教職員の相談件数も多くなっているようなので、今後とも充実したカウンセラーの活用事業に期待します。教員に対しても、研修(会)を通して理解を深める場があっても良いのではないかと考えます。	
事業概要:児童生徒の臨床心理に関する専門的な知識や経験を有するスクールカウンセラーを配置し、不登校・引きこもり等に関する教育相談体制の充実や教職員等の資質向上を図る。			
事業計画:			
①各学校の児童生徒、教職員、保護者等への相談活動			
②メンタルフレンド、教職員、保護者等に対する研修会			
予算額(千円)	決算額(千円)		
2,671	2,592		
自己評価	外部評価		
B	B		

令和2年度 恵庭市教育委員会点検評価票

6 継続		所管課 【 学校給食センター 】	
事業名(施策)		自己評価	
食物アレルギー対応指針に基づく安全安心な学校給食の対応		<b>計画の達成状況</b> ①衛生管理の徹底 朝昼2回職員の衛生検査と調理作業の点検確認を行った。学校休業の代替として例年夏休みの時期に登校日となった2週間について、食中毒防止のため加熱調理できる温食缶の献立とし、牛乳も緑茶へ変更とした。 ②地場産食材の活用 米飯は、恵庭産ななつぼし、パン・麺は道内産の小麦を使用。地場産野菜の年間使用量132,527kg(うち恵庭産16,641kg)、年間使用割合13%、目標30%(第3次恵庭市食育推進計画より) ③食物アレルギー児童・生徒への対応 家庭・学校・センター連携のもと、綿密な確認に努めた。(アレルギー児童・生徒数273名、全児童・生徒数の4.8%) ④放射能汚染へ対応 食材の選定は、放射性物質の検査結果や産地情報をもとに行い、その内容はホームページで公表した。	
第5期総合計画での区分			
基本目標	4.人が育ち文化育むまち	<b>課題及び今後の取り組み</b> ①老朽化した施設・設備及び厨房機器、食器等の改修・更新を、計画的に継続する必要がある。 ②地場産野菜については、市場価格を勘案しながら、使用の拡大に努めたい。 ③アレルギー対応については、現状で対応可能な事項について実施に向けて検討することとし、又、給食センターの建て替えと同時には除去食、代替食のアレルギー対応について検討する必要がある。 ④食材の安全性を確認しながら使用に努めたい。	
目 標	08.夢と健康を育むまち		
教育推進プログラム(施策の方向)		<b>外部評価委員の意見</b> 衛生管理の徹底や地場産食材の活用はもとより、食物アレルギーや放射能汚染への対応など、望ましい取り組みを継続していると思います。今後とも食材の安全と地場産野菜の調理法を模索し、よりよい学校給食の提供に努めていただきたいと思います。	
安全安心な学校給食の充実と栄養教諭を中心とした食育の推進			
事業(施策)概要・計画(目標)			
計画的な施設・設備、厨房機器の更新整備を行い衛生管理の徹底と職員の健康管理を図り、食中毒の発生や異物混入の未然防止に努め、新鮮で安全・安心な地場産食材の活用を進め、栄養バランスのとれた、よりおいしい給食の提供と食物アレルギー児童・生徒への対応食の充実を図るとともに放射能汚染に対し万全を期していきたい。 《具体的目標》 ①衛生管理の徹底 ②地場産食材の活用 ③食物アレルギー対応食の充実 ④放射能汚染対応等安全な食材の使用			
予算額(千円)	決算額(千円)		
276,864	270,976		
自己評価	外部評価		
B	A		

令和2年度 恵庭市教育委員会点検評価票

7 継続		所管課 【 社会教育課 】	
事業名(施策)		自己評価	
コミュニティ・スクール事業		計画の達成状況	
第5期総合計画での区分		<p>恵み野・島松で実施している恵庭版コミュニティスクールの支援については、新型コロナウイルス感染症の影響により、計画していた事業は実施することが出来なかった。一方で、平成29年度から導入を開始している文科省型コミュニティ・スクール事業(学校運営協議会)において、令和2年度は和光小・恵み野旭小・恵明中学校で導入され、残る4校のうち恵み野小及び島松小学校について恵庭版コミスクの関係者と令和3年度の設置に向けた最終的な実務者協議を行い、学校・家庭・地域の理解を深めることができた。</p>	
基本目標	4.人が育ち文化育むまち		
目 標	16.子どもの自立成長を促す学校教育	課題及び今後の取り組み	
教育推進プログラム(施策の方向)		<p>コミュニティ・スクール(学校運営協議会)の5カ年計画に基づいた計画的な実施に向けて、学校・家庭・地域の理解を進めてきたが、社会教育課においては、特に恵庭版コミュニティスクールを実施している恵み野・島松小学校区に対し、学校運営協議会の導入にあたって施策の位置づけを整理し関係者をはじめとした地域住民との共通理解を進めてきた。コロナ禍の現在、関係者とのコミュニケーションが難しい状況が続いているが、今後も両学校区共に恵庭版コミスクを経て文科省が推進している学校運営協議会がスムーズに設置することが出来るよう、引き続き関係機関と連携を取りながら慎重に対応して参りたい。</p>	
地域と学校が一体となった教育活動の推進			
事業(施策)概要・計画(目標)		外部評価委員の意見	
<p>[ねらい] 保護者や地域の方々が学校運営に参画することにより、学校・家庭・地域社会が一体となってより良い教育の実現に取り組み地域全体の活性化を目指す。</p> <p>[目標] 恵庭版コミュニティスクールの継続的な支援に加えて、文部科学省が推進するコミュニティ・スクール(学校運営協議会)をH29年度から全校区に5カ年計画で設置する。</p>		<p>当初の取り組みが、コロナ対応のため、予定どおり実施出来ずに終わった点は仕方ありませんが、今年度市内小中全校で学校運営協議会が立ち上がったので、次年度は十分なサポートや情報提供により新たなコミュニティ・スクールを目指していただきたいと思います。</p>	
予算額(千円)	決算額(千円)		
519	24		
自己評価	外部評価		
B	B		

8 継続		所管課 【 社会教育課 】	
事業名(施策)		自己評価	
青少年育成事業の推進		計画の達成状況	
第5期総合計画での区分		<p>「青少年育成市民の会」加盟団体に対し、会の年度内事業の実施状況を報告するなど、会の活動に対する関心を深めることで、団体間の連携を深めることに努めた。</p>	
基本目標	4.人が育ち文化育むまち		
目 標	16.子どもの自立成長を促す学校教育	課題及び今後の取り組み	
教育推進プログラム(施策の方向)		<p>各加盟団体の事業等情報の提供や、人材に関する情報収集などに関する検討・調整が必要。また、市民の会の主要な事業である国際交流派遣事業について、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により令和2年度に引き続き令和3年度においても派遣を取り止めることとなった。</p>	
地域や企業の青少年育成活動への啓発や支援			
事業(施策)概要・計画(目標)		外部評価委員の意見	
<p>[ねらい] ふるさとに生きる子どもの育成をめざした地域づくりを進めるため、青少年育成関係団体と連携し、ふるさと教育を推進する。</p> <p>[目標] 青少年の健全育成に関わる団体で構成される「青少年育成市民の会」の、各加盟団体の事業・人材の情報等を共有し、団体間の連携を深め、効果的な事業の推進を図る。</p>		<p>国際交流派遣事業の中止は極めて残念ですが、現状ではやむを得ない判断だと考えます。次年度に向け、各団体の情報提供や人材に関する情報収集などに努め、ふるさと教育の推進のために継続して欲しいと思います。</p>	
予算額(千円)	決算額(千円)		
79	79		
自己評価	外部評価		
B	B		

令和2年度 恵庭市教育委員会点検評価票

9 継続		所管課 【 社会教育課 】	
事業名(施策)		自己評価	
郷土芸能の体験学習の推進		計画の達成状況	
第5期総合計画での区分		新型コロナウイルス感染拡大の影響により、すずらん踊りの技術指導を小学校1校への実施のみにとどまり(参加者60名)、恵庭岳太鼓の技術指導は実施することが出来なかった。	
基本目標	4.人が育ち文化育むまち	課題及び今後の取り組み	
目標	17.手を取り合い創造性を育む文化芸術		
教育推進プログラム(施策の方向)		すずらん踊りDVDの活用やプレゼンテーション機器による踊りの啓発を推進。各小学校区においても保存会児童メンバーによるポスターを掲示するなど郷土芸能に取り組むことを目指す。	
ふるさと文化の学びと継承・発展		外部評価委員の意見	
事業(施策)概要・計画(目標)			
「すずらん踊り」「恵庭岳太鼓」等郷土芸能の伝承発展に努め、ふるさとを愛する心を培うために、学校や地域に指導者を派遣し、郷土芸能を紹介するとともに総合的な学習の時間、学校行事等を活用した郷土芸能の体験学習を推進する。		すずらん踊りや恵庭岳太鼓は、太鼓の響きと共に踊ることで、郷土を愛する心を培う貴重な取り組みです。コロナ禍が収束したら是非、適切な時期に事業を実施していただきたいと思っております。	
予算額(千円)	決算額(千円)		
266	266	外部評価委員の意見	
自己評価	外部評価		
C	B	<p style="border: 1px solid red; padding: 5px;">(追記)新型コロナの影響により当該事業は実施できない状況にあることから、令和3年度の技術指導についても、実施が難しい状況である。</p>	

10 新規		所管課 【 社会教育課 】	
事業名(施策)		自己評価	
「えにアートギャラリー」の開設		計画の達成状況	
第5期総合計画での区分		コロナ禍の新たな取り組みとして、急きょ11月より市内で活動している芸術家の文化芸術作品の展示スペース「えにアートギャラリー」を商業施設(フレスポ)及び花の拠点はなふる内に開設したところ、3月末までに個人・団体合わせて11件の利用があった。また、インターネット上での作品展示として「えにアートネットギャラリー」も市ホームページに開設し発信している。	
基本目標	4.人が育ち文化育むまち	課題及び今後の取り組み	
目標	17.手を取り合い創造性を育む文化芸術		
教育推進プログラム(施策の方向)		新型コロナの影響により、令和2年以降は市民文化祭や公民館まつりの開催を断念している中で、小規模ではあるが、個人や団体で活動している市民の作品を展示・紹介する受け皿を用意することが出来た。	
ふるさと文化の学びと継承・発展		外部評価委員の意見	
事業(施策)概要・計画(目標)			
新型コロナウイルス感染症の影響により、市民の文化芸術活動を実践する機会や文化芸術に触れる機会が減っていることから、市内の公共施設や商業施設の空きスペースを活用し、個人や団体で活動している市内の芸術家による文化芸術作品を展示する場を提供することで、誰でも気軽に文化芸術に触れる機会を創出する。		今後も開催場所の拡大を目指すと共に、展示利用・閲覧についても継続して周知して参ります。	
予算額(千円)	決算額(千円)	外部評価委員の意見	
0	32		
自己評価	外部評価	コロナ禍の中で、芸術文化活動の一環としての「えにアートギャラリー」の開設は、意義あるもので大いに評価できます。作品展示となると市民の観覧が前提になり、密対応などが必要になると思いますが、今後も工夫を重ね、展示閲覧の機会の拡大を期待します。	
A	A		



令和2年度 恵庭市教育委員会点検評価票

<b>11</b> 新規		所管課 【 読書推進課 】	
事業名(施策)		自己評価	
図書館情報システムの更新		計画の達成状況	
第5期総合計画での区分		・図書館本館・恵庭・島松各分館、ブックステーション及び市内小・中学校図書館のシステム更新を完了	
基本目標	4.人が育ち文化育むまち		
目 標	17.手を取り合い創造性を育む文化芸術		
教育推進プログラム(施策の方向)		課題及び今後の取り組み	
学校や家庭での読書活動の推進		・今回導入したシステムは、公共図書館のシステムをベースとしたものであり、従来の学校図書館システムと構成が異なる部分があるため、統合に向けた事前の準備や調整を行ってきたが、実際の運用で改善を必要とする部分が判明していることから、継続してシステム開発業者と調整を行っていく。	
事業(施策)概要・計画(目標)		外部評価委員の意見	
◇事業概要 図書館情報システムは、現行、公共部門と学校部門が個別のシステムであったが、更新期に合わせこれらを一元化しシステム管理の効率化を図る。		学校や家庭での読書活動の推進を促すための、情報システムを更新できたのは大いに評価できます。本館等と学校図書館のシステムの一体化は、IT化が進む社会として当然のことと評価できますが、実際の運用には更なる工夫をお願いしたいと思います。	
予算額(千円)	決算額(千円)		
48,322	45,784		
自己評価	外部評価		
<b>B</b>	<b>A</b>		

<b>12</b> 新規		所管課 【 読書推進課 】							
事業名(施策)		自己評価							
恵庭分館カードレスIC化事業		計画の達成状況							
第5期総合計画での区分		・アンケート結果(抜粋) ※R3.3指定管理者実施							
基本目標	4.人が育ち文化育むまち	分館のリニューアル後							
目 標	17.手を取り合い創造性を育む文化芸術	<table border="1"> <tr> <td>利用しやすくなった</td> <td>74%</td> </tr> <tr> <td>変わらない</td> <td>19%</td> </tr> <tr> <td>利用しにくくなった</td> <td>7%</td> </tr> </table>		利用しやすくなった	74%	変わらない	19%	利用しにくくなった	7%
利用しやすくなった	74%								
変わらない	19%								
利用しにくくなった	7%								
教育推進プログラム(施策の方向)		手のひら認証を導入して							
学校や家庭での読書活動の推進		<table border="1"> <tr> <td>便利になった</td> <td>35%</td> </tr> <tr> <td>使いやすかった</td> <td>22%</td> </tr> <tr> <td>貸出処理が早くなった</td> <td>12%</td> </tr> </table>		便利になった	35%	使いやすかった	22%	貸出処理が早くなった	12%
便利になった	35%								
使いやすかった	22%								
貸出処理が早くなった	12%								
事業(施策)概要・計画(目標)		課題及び今後の取り組み							
◇事業概要 図書館システムの更新期に合わせ、生体(手のひら)認証システムを導入し、利用者カードを持たなくても貸出を可能とし、多くの市民利用を促進する。また、複合施設内でゆっくり読書を楽しむ場所を提供する。 なお、この事業は図書館振興財団助成金事業で実施。 ※令和3年3月より稼働開始		・利用者への啓発活動(利用方法等) ・ICシステム・自動貸出機による、開館時間外(職員不在時)での貸出を検討(指定管理者との協議・試験的な運用や調整の実施)							
外部評価委員の意見									
利用者にとって、便利になることは評価できますが、利用方法について周知徹底をお願いします。高齢者などが、慣れた方法より別の方法を強いられていると受止めぬよう、カード利用とカードなしの両方利用可能なことを、もっとアピールして頂きたいと思います。									
予算額(千円)	決算額(千円)								
30,160	30,157								
自己評価	外部評価								
<b>B</b>	<b>B</b>								

令和2年度 恵庭市教育委員会点検評価票

13 継続		所管課 【 読書推進課 】					
事業名(施策)		自己評価					
学校図書館活動の推進及び充実		計画の達成状況					
第5期総合計画での区分		・公共図書館と学校間の図書の共有化と相互貸出の推進					
基本目標	4.人が育ち文化育むまち	貸出実績	小学校	中学校		図書館団体貸出	学校間貸出
目 標	16.子どもの自立成長を促す学校教育	一人当たり貸出冊数	51.7冊/人	23.3冊/人	貸出実績	8,374冊	3,217冊
教育推進プログラム(施策の方向)		・調べる学習コンクールの実施					
学校や家庭での読書活動の推進		課題及び今後の取り組み					
事業(施策)概要・計画(目標)		◇課題 ・学校図書館を活用した教科学習支援 ・コロナ禍におけるボランティア活動・研修の実施 ◇取組 ・読書活動を推進する体制づくり(学校図書館指導計画の作成)					
事業(施策)概要・計画(目標)		外部評価委員の意見					
事業(施策)概要・計画(目標)		スマホやPCの検索で簡単に情報が手に入ること勢の中で、じっくり調べることの面白さを伝えたことは、十分に評価できます。学校図書館が、司書を中心に充実した運営がなされており、また、各学校での図書ボランティアの協力体制も十分構築されていることを高く評価します。					
予算額(千円)	決算額(千円)						
9,447	9,443						
自己評価	外部評価						
B	B						

令和2年度 恵庭市教育委員会点検評価票

14 継続		所管課 【 郷土資料館 】	
事業名(施策)		自己評価	
地域の遺跡・施設等の教材化と活用		計画の達成状況	
第5期総合計画での区分		<p>○史跡整備に向けて水文環境調査、危険木伐採を目標どおり実施した。</p> <p>○各種講座・講演会、まつり、遺跡見学会などを開催し、啓発に努めた。</p> <p>○史跡の環境整備を目的とした花壇づくりを5月に実施。草刈は業者委託により6月と8月の2回実施。</p> <p>○史跡整備について、部内や市長部局、理事者と協議を行った。令和3年3月に文化庁調査官を招き、整備計画策定委員への報告会を開催。史跡整備の方向性についての報告を行い、文化庁からアドバイスを受けた。</p>	
基本目標	4.人が育ち文化育むまち		
目 標	17.手を取り合い創造性を育む文化芸術		
教育推進プログラム(施策の方向)		課題及び今後の取り組み	
地域の遺跡・施設等の教材化と活用		<p>(課題) 令和3年度から7年度にガイダンス施設と郷土資料館を集約・統合した新複合施設の整備位置付けについて検討するが、今後も益々厳しい財政状況が見込まれ、市独自による施設整備は難しいことから、民間活用による事業手法、実施時期を検討することとした。</p> <p>(今後の取り組み) 令和4年度から史跡低地面の整備を開始する。かつ、史跡に隣接する関連用地・公共用地の民間による活用の可能性についての検討を進める。</p>	
事業(施策)概要・計画(目標)		外部評価委員の意見	
<p>(目標) 史跡カリンバ遺跡を市民共有の財産として有効に活用を図りつつ良好な状態で後世に継承するため、H28年3月に「史跡カリンバ遺跡整備基本計画」を策定した。ガイダンス施設等の建設は第5期総合計画に位置付けられていたが財政面等から早期の実現が困難となったため、令和2年度に今後の整備の方向性について検討することとなった。</p> <p>(事業) ○史跡カリンバ遺跡水文環境調査 ○史跡カリンバ遺跡危険木伐採 ○史跡カリンバ遺跡整備計画策定委員への報告会 ○史跡カリンバ遺跡各種啓発事業実施 ○史跡カリンバ遺跡環境整備</p>		<p>北海道・北東北縄文遺跡が世界遺産登録されたことにより、縄文に対する関心が高まっているので、カリンバ遺跡基本計画にそって具体的に一歩ずつ実現へ近づいてほしいと願うばかりです。</p>	
予算額(千円)	決算額(千円)		
3,696	3,454		
自己評価	外部評価		
B	B		

15 継続		所管課 【 郷土資料館 】	
事業名(施策)		自己評価	
郷土資料館事業の充実		計画の達成状況	
第5期総合計画での区分		<p>○展示事業:企画展「市になった頃の恵庭」等6件</p> <p>○教育普及事業:クイズ&amp;スタンプラリー 参加者200人(体験学習・観察会=新型コロナ対策のため中止)</p> <p>○ふるさと教育宅配事業:市内8小学校へ資料の貸出=新型コロナ対策のため中止し、ホームページ上の学校対象の資料貸出ページを整備</p> <p>○資料保存事業:8ミリフィルムのデジタル化 聞き取り調査の書きおこし</p> <p>○令和2年度入館者数:4,456人</p>	
基本目標	4.人が育ち文化育むまち		
目 標	17.手を取り合い創造性を育む文化芸術		
教育推進プログラム(施策の方向)		課題及び今後の取り組み	
遺跡・施設等を活用した学習の推進		<p>(課題)・感染防止対策をとった上での事業の進め方検討</p> <p>・収蔵資料の有効活用</p> <p>・入館者数増加に繋がる対策(今後の取り組み)</p> <p>・収蔵資料の保存管理</p> <p>・ボランティア団体や学校教育との連携強化</p>	
事業(施策)概要・計画(目標)		外部評価委員の意見	
<p>(目標) 郷土の歴史等に関する資料を収集・保管・展示公開し、より多くの市民に郷土「恵庭」に対する関心を深めていただくことに貢献する。</p> <p>(事業概要)</p> <p>○展示</p> <p>○体験学習・観察会等の教育普及事業</p> <p>○ふるさと教育宅配事業</p> <p>○資料保存事業</p>		<p>ふるさと教育の推進のため、展示事業や体験学習等の行事を行っていることは、大いに評価できます。今後とも、学校と連携して計画的に実施されることを期待します。コロナ禍で中断したり、限定された事業については再開に向けた準備を進めていただきたいと思います。</p>	
予算額(千円)	決算額(千円)		
491	389		
自己評価	外部評価		
B	B		

令和2年度 恵庭市教育委員会点検評価票

16 継続		所管課 【 教育施設課 】	
事業名(施策)		自己評価	
学校教育施設の整備について①		計画の達成状況	
第5期総合計画での区分		昨年に引き続き恵庭小長寿命化改修工事にて南校舎の改修を進めていたが、コロナ禍による夏休み短縮により外部工事(屋根・外壁改修)が完了できず次年度に繰り越す事となった。なお、当該工事の内部改修においては年度内に完了した。恵み野旭小屋上防水改修工事(2期)においては計画通り完了した。島松小講堂トイレ改修工事においては当初実施設計のみで次年度の工事を予定していたが、文科省補助の前倒しを受け、年度内に工事を実施し完了した。補助の前倒しを要望することで学校施設における環境改善を早期に図ることが出来た。	
基本目標	4.人が育ち文化育むまち	課題及び今後の取り組み	
目 標	16.子どもの自立成長を促す学校教育		
教育推進プログラム(施策の方向)		<p>外部評価委員の意見</p> <p>長寿命化工事が計画的に実施されていることは大いに評価できます。使い易い衛生的なトイレは、子どもたちの学びを下支えする施設なので、補助金の前倒しなど要望し、早期に実現できるよう尽力していただきたいと思えます。</p>	
事業(施策)概要・計画(目標)			
<p>良好な学習環境を維持するための施設の改修(屋上防水改修、トイレ改修等)、また学校施設全体の長寿命化を行う大規模な改修工事を計画的に実施する。</p> <p>【令和2年度工事・設計】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・恵庭小学校長寿命化改修工事(南校舎)</li> <li>*一部次年度に繰越</li> <li>・恵庭小学校長寿命化改修工事実施設計(管理棟)</li> <li>・恵み野旭小学校屋上防水改修工事(2期)</li> <li>・島松小学校講堂トイレ改修実施設計・工事</li> </ul>			
予算額(千円)	決算額(千円)		
345,026	274,936		
自己評価	外部評価		
B	B		

17 継続		所管課 【 教育施設課 】	
事業名(施策)		自己評価	
学校教育施設の整備について②		計画の達成状況	
第5期総合計画での区分		今年度の防音機能復旧における暖房用ボイラーの更新工事の実績は、2か年事業(令和1・2年度)の柏陽中(校舎・講堂)の工事となっている。	
基本目標	4.人が育ち文化育むまち	またアスベスト含有断熱材が含まれている煙突に対しても、ボイラー更新に併せて撤去更新を進める柏陽中(校舎・講堂)の他に、煙突の改修のみを行う恵み野中(校舎・講堂)において工事を実施し予定通り完了している。	
目 標	16.子どもの自立成長を促す学校教育		
教育推進プログラム(施策の方向)		課題及び今後の取り組み	
事業(施策)概要・計画(目標)			
<p>設置後20年程度経過し老朽化している暖房用ボイラーを計画的に更新し故障による学校運営への影響を未然に防ぐ。</p> <p>【令和2年度工事・設計】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・柏陽中(校舎・講堂)防音機能復旧工事</li> <li>・恵み野中(校舎・講堂)煙突石綿対策工事</li> </ul>			
予算額(千円)	決算額(千円)		
175,296	130,306		
自己評価	外部評価		
B	B	<p>外部評価委員の意見</p> <p>防音、暖房工事が計画通り進められたことを評価します。今後、老朽化している暖房用ボイラーの更新を計画的に進めるよう期待します。アスベストの問題は、保護者を始め社会的関心事であることから、緊急度をふまえ計画的な取り組みを望みます。</p>	



令和2年度 恵庭市教育委員会点検評価票

18 継続		所管課 【 教育施設課 】	
事業名(施策)		自己評価	
地区会館等の整備について		<b>計画の達成状況</b>	
第5期総合計画での区分		今年度は、桜町会館の暖房ボイラー更新に伴う実施設計とアスベスト含有断熱材が含まれる煙突に対する撤去更新に対する実施設計も併せて行った。	
基本目標	4.人が育ち文化育むまち	また、老朽化する中島会館の外壁の改修を行うと共に、部分的に発生していた雨漏りに対する屋根改修も一部行い、現時点において不具合の発生は無い。	
目 標	17.手を取り合い創造性を育む文化芸術	<b>課題及び今後の取り組み</b>	
教育推進プログラム(施策の方向)		施設運営への影響を未然に防止するために、老朽化している暖房用ボイラーに対して計画的に更新を行い、併せてアスベスト含有断熱材が含まれる煙突の撤去更新を行っている。	
事業(施策)概要・計画(目標)		また、外壁改修などにおいては、施設の劣化状況を事前に把握し効果的な改修ができるよう進めていく。	
設置後20年程度経過し老朽化している暖房用ボイラーを計画的に更新し故障による社会教育活動への影響を未然に防ぐ。		<b>外部評価委員の意見</b>	
また、計画的に会館の外壁改修を行うことで、雨漏りなどによる社会教育活動への影響を未然に防ぐと共に施設の長寿命化に努める。		桜町会館や中島会館の改修が実施されたことは評価できます。地区会館は市民の芸術文化活動のベースとなる施設でもある事から、計画的な整備を推進して頂きたいと思います。改修等のための日頃のチェックも重要になってくると思うので、利用者の声を聴くのも一つの方法と思います。	
【令和2年度 工事・設計】			
・桜町会館防音機能復旧実施設計			
・中島会館外壁改修工事			
予算額(千円)	決算額(千円)		
9,270	9,155		
自己評価	外部評価		
<b>B</b>	<b>B</b>		

## 令和2年度 恵庭市教育委員会点検評価一覧

課	番号	新・継	事業名	自己評価	外部評価
教育総務課	1	新	I C T教育環境の整備・活用	B	B
	2	新	教職員の働き方改革の推進	B	B
	3	新	学力・体力向上の推進	B	B
教育支援課	4	継	「なかよしさわやかDAY全市交流会」の推進	B	B
	5	継	スクールカウンセラー活用事業	B	B
学校給食センター	6	継	食物アレルギー対応指針に基づく安全安心な学校給食の対応	B	A
社会教育課	7	継	コミュニティ・スクール事業	B	B
	8	継	青少年育成事業の推進	B	B
	9	継	郷土芸能の体験学習の推進	C	B
	10	新	「えにアートギャラリー」の開設	A	A
読書推進課	11	新	図書館情報システムの更新	B	A
	12	新	恵庭分館カードレスIC化事業	B	B
	13	継	学校図書館活動の推進及び充実	B	B
郷土資料館	14	継	地域の遺跡・施設等の教材化と活用	B	B
	15	継	郷土資料館事業の充実	B	B
教育施設課	16	継	学校教育施設の整備について①	B	B
	17	継	学校教育施設の整備について②	B	B
	18	継	地区会館等の整備について	B	B